

情報の公開について

特殊清掃の記事を書いて欲しい旨の相談が弊社にありました。

結論から申しますと弊社としてはお断りさせて頂きました。

いくら匿名にしたにせよ業務上知り得たことを軽々しく公開すべきではないと考えたからです。

人の死に携る事業の人間が在職中に遺族や故人のことを匿名でも語る、ブログなどで現場の写真までも公開することは如何なものか。

事業を行うにあたり、ストラテジックマネジメントを如何に実践するかは徹底的に考えますが、倫理を考える時間は殆どありません。

しかし社会通念上の常識、倫理観から外れて良い訳がありません。

考えるというよりもむしろ感覚です。

親に子供の頃から躰けられた感覚といったほうが正しいと思います。

考えるよりもその感覚に従ったのです。

品の無いことだけはしたくなかったというのが社員一同の見解です。

もし、匿名にしてもその話題が当事者の遺族の耳に入ったり、Web上で知る機会があった場合、どのような気持ちになるか。

そう思うとせつかくのお誘いですがお断りするしかなかったのです。

その他に雑誌社、全国版新聞社2社、TV局2社からも取材がありましたが、差し障りのない話しだけで終わりました。

私達の仕事は衛生上の原状回復、復帰(洗浄・消毒・除菌・消臭の施工)が業務であり、我々の事業は如何にあるべきか、我々は如何にあるべきかを自覚する良い機会となりました。

曲友(かねとも) 特殊清掃事業部

スタッフ一同

<https://deo.2lala.net>

曲友(かねとも)